

株式会社 共和電業 マーケティング本部

2月27日(水)から3月1日(金)の3日間、東京ビッグサイトに新エネルギー関連の8つの展示会が開催されました。

昨年7月に再生エネルギーの全量固定価格買い取り制度が施行されたこともあり、石油等の化石燃料に代わるエネルギーとして多くの関心が寄せられる中、当社は国内で初めてとなる風力発電に関する専門展示会「第一回国際風力発電展-WIND EXPO 2013」に出展致しました。

今回の出展コンセプトは次の3つです。

1. 振動計測 (ナセルの振動計測, タワーモニタリング計測)
2. 多点計測 (風力発電機の各部=基礎部分, タワー, ブレード等の強度計測)
3. コンパクト計測 (模型部品等の簡易計測)

各コンセプトに対して、パネルとデモ機を用意し、訪れたお客様に計測を実感していただける見せ方を心がけました。

会期中は、当社の手掛けた主な海洋・港湾現地観測、地域別実績を営業担当自ら紹介することで、当社の強みである「基礎や浮体、タワー等の海中での計測実績」をPRしました。

また、安定的な稼働が求められる風力発電に対して、“安全と安心”を掲げる当社ならではの計測事例を提案することで、訪れたお客様の興味・関心を集めることが出来ました。

今回の展示会をきっかけに、風力発電産業の更なる発展に貢献できるよう、これからもお客様の課題一つひとつに真摯に取り組む所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



図 1



図 2

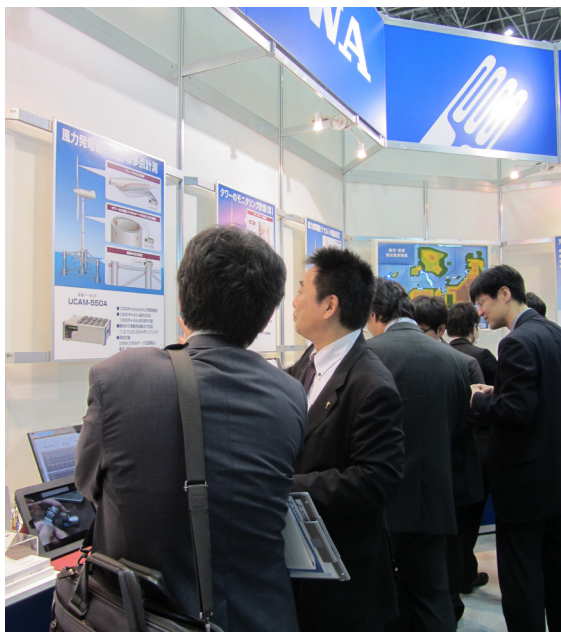


図 3

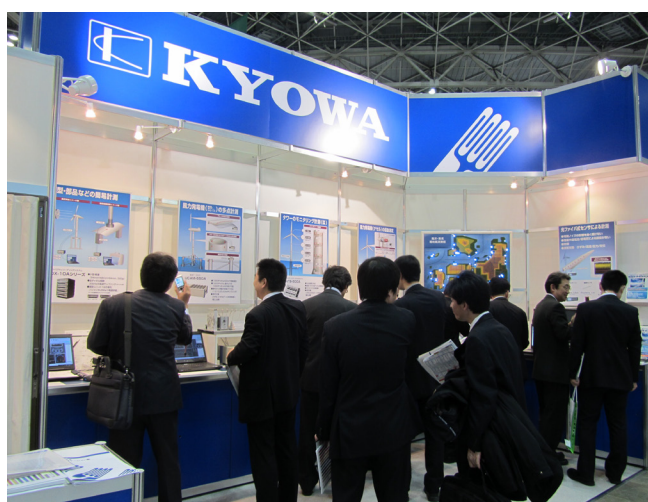


図 4

図 1 当社ブースの外観。出展コンセプトに沿ったパネルとデモ機を展示しました。

図 2 日本地図を用いた海洋・港湾観測実績紹介には、訪問者の注目が集まりました。

図 3・4 会期中の当社ブースの様子。多くのお客様に当社の風力発電関連事業を見ていただくことが出来ました。